SOMPO福祉財団 NEWs

Sompo Welfare Foundation

●2020年度の主な助成金の募集（公募）
●2019年度　自動車購入費助成、NPO基盤強化資金助成　贈呈式を開催
●2019年度　海外助成　贈呈式を開催
●財団からのお知らせ

発行者　公益財団法人ＳＯＭＰＯ福祉財団
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1　損保ジャパン本社ビル　TEL：03-3349-9570　FAX：03-5322-5257
https://www.sompo-wf.org/　Eメール：office@sompo-wf.org

2020年度 vol. 1

2020.06.25発行

2020年度の主な助成金の募集（公募）

2020年度の社会福祉事業における助成金の公募を以下のとおり予定しています。
※詳細は財団ホームページをご覧ください。

事業名（募集時期／予算）	事業の内容 ※助成金額	対象となる団体
自動車購入費助成 （６月１日～７月10日／総額1,200万円） 募集中	・主として障害者の福祉活動を行う団体が、自動車を購入する際の資金を助成 ※１件120万円（上限）	・特定非営利活動法人 ・主として障害者の福祉活動を行う団体（ただし、加齢に伴う障害者（高齢者）の福祉活動団体は除く。） ・西日本地区に所在する団体
NPO基盤強化資金助成 （９月～10月予定／総額1,450万円）	・組織および事業活動の強化に必要な資金を助成 ※１団体70万円（上限）、15団体程度	・社会福祉に関する活動を行う特定非営利活動法人、社会福祉法人 ・東日本地区に所在する団体
	・認定NPO法人取得資金を助成 ※１団体30万円、15団体	・認定NPO法人の取得を目指す社会福祉分野の特定非営利活動法人 ・日本国内に所在する団体
（６月１日～６月19日／総額550万円） 募集終了	・住民参加型の福祉活動資金を助成 ※１団体30万円（上限）、19団体程度	・地域における高齢者・障害者・子ども等に関する複合的な生活課題に包括的な支援活動を行なう非営利団体 ・日本国内に所在する団体 **※2020年３月以降に取り組んだ、コロナウイルス感染拡大防止に伴う支援活動（学校閉鎖における子ども支援等）も対象**
海外助成 （９月～10月予定／総額400万円）	・ASEAN加盟国、インドおよび南アフリカの非営利団体が地域の社会福祉に資する活動を行うための資金を助成 ※１件100万円（上限）	・社会福祉分野で活動をする非営利団体 ・ASEAN加盟国、インドおよび南アフリカに本部を置く団体 ※現地駐在員の推薦が必要です。





2019年度　NPO基盤強化資金助成
<なかよしパソコンお絵かきクラブ>



2019年度　自動車購入費助成
<特定非営利活動法人幸せつむぎ>

2019年度　自動車購入費助成、NPO基盤強化資金助成　贈呈式を開催

損保ジャパン（当時、損保ジャパン日本興亜）の支店のご協力で、助成金の贈呈式を開催しました。

埼玉支店



＜特定非営利活動法人 こどもの木＞

秋田支店



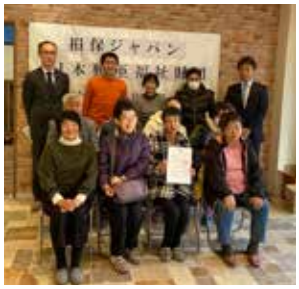
＜特定非営利活動法人 ハートランドひまわり＞

名古屋支店



＜特定非営利活動法人 幸せつむぎ＞

広島支店



＜特定非営利活動法人 びぃあらいぶ＞

山口支店



＜NPO法人 シンフォニーネット＞

福岡中央支店



＜特定非営利活動法人 フードバンク福岡＞

熊本支店



〈スヌーズレンルーム〉



＜特定非営利活動法人 NCK＞

北九州支店



〈セラピードッグたち〉



＜特定非営利活動法人 ドッグセラピージャパン＞

熊本支店



＜特定非営利活動法人 優里の会＞

岐阜中央支店





無料学習支援や子ども食堂、引きこもりの若者をサポートする運営団体に寄付金を配布することで間接的に困っている方々をサポートされています。岐阜県内でもこういった活動はまだまだ皆さんに知られていません。まずは知ること知らせることから始めて行くことが企業に求められているのだと感じました。企業の果たすべき役割（CSR）についても考えることができ、とても良い機会になりました。

［岐阜中央支店　支店長席　森本さん］

＜特定非営利活動法人 ぎふハチドリ基金＞

2019年度　海外助成　贈呈式を開催

助成先のインド、ベトナム、フィリピン、インドネシア4カ国で、助成金の贈呈式が開催されました。助成先団体の皆様、障害者団体など多くのご参列を得て開催されました。

インド
TRAX SPORTS SOCIETY



昨年度の助成対象プロジェクト「Road Safety Ranger 1.0」のクロージングイベントおよび今年度のプロジェクト「Road　Safety Ranger 2.0」のキックオフイベントと同時に開催しました。キックオフイベントには、NGOであるTrax Sports　Societyが募ったムンバイ市内の3つの学校の教師などが参加しました。イベントでは、インドの交通事故統計・交通事故を抑制するためのベストプラクティスを披露するほか、実際の学校周辺の道路に設置すべき交通標識や学校での交通安全研修の導入内容などが紹介し、プロジェクト参加者とUSGの経営陣との交流を図りました。
今後、選定された学校に対して、地元政府教育機関とTRAXが連携して、交通安全活動を行い、プロジェクト活動を通じて学校および生徒の交通安全に対する意識・行動に変化がみられることを期待しています。

［横溝　博一さん（ムンバイ事務所）］

ベトナム
Center for Social Initiatives Promotion (CSIP)





サパ（地名）にプレイグランドを造設するという将来有望な取組みに助成が出来嬉しく思っています。サパでは子供たちがツーリズムの影響により遊び場が減少する課題へ直面しており、CSIPの取組みが解決策になることを期待しています。また、この取組みが施設設置にとどまらず、子供たちが互いに接し、学び合う場としてサパのコミュニティ全体がひとつになる機会の提供につながることを切に願っています。

［山下　潤さん（United Ins Co.Vietnam）］

フィリピン
KYTHE FOUNDATION INC





贈呈式で病と闘っている子供たちや病を克服した子どもたちと一緒に過ごした時間は、とても喜んでもらえて彼らのモチベーションを高めることができたかもしれませんが、それ以上に無邪気で屈託のない子供たちは、愛や思いやりの精神の大切さをできる限り広げていきたいと私たちに感じさせてくれました。彼らのような子供たちと時間を過ごすことが出来たこの機会を頂いたことに感謝しています。今回の活動を通じて、子どもたちに癒しと病気の回復に役立つことを切に願っています。

［石川　洋史さん（PGA Sompo Insurance Corp.）］

フィリピン
Hands of Love Philippines Foundation Inc.



インドネシア
PERDHAKI (ASSOCIATION OF VOLUNTARY HEALTH SERVICES FOR INDONESIA)



第21回損保ジャパン日本興亜福祉財団賞受賞記念講演会とシンポジウムの開催中止について

第21回損保ジャパン日本興亜福祉財団賞は「『住宅扶助と最低生活保障－住宅保障法理の展開とドイツ・ハルツ革命』嶋田　佳広氏に決定し、７月に贈呈式と受賞者による講演会・シンポジウムの開催を予定しておりましたが、新型コロナウィルスの感染終息の先行きが見通せない中、受賞者および出席者の皆さまの健康面・安全面を考慮し、開催は見合わせることになりました。





助成先訪問





2018年度基盤強化資金助成先の「ホームスタート・ジャパン」の10周年記念フォーラムに出席してきました。
大勢の方が出席されており、体験者の話しや基調講演等大盛況なフォーラムでした。

2018年度認定NPO法人取得資金助成先の「びーのびーの」が主催するセミナーに出席し、『企業とつくる子育て支援』に関して事例発表がおこなわれ、最後には当財団の松林専務理事が登壇し講評を述べました。
多数の方が出席をされ、とても有意義なセミナーでした。



〈松林専務理事〉



〈セミナーの様子〉



財団からのお知らせ



認知症と家族の会の32支部に交流会資金を助成しました。
参加者からは「講演会を受講し、認知症の症状を再確認できた。認知症を患った人の不自由さ、不便さに思いを寄せることの大切さを再認識できました。」
「交流会をとおして、認知症や介護に限らず、育児や不登校、ひきこもりなど各家庭で抱える問題は多々ありますが、孤独になったり追いつめられる状況になった時に乗り越えるには人と人の関わりの大切さを改めて痛感しました。」
「介護の交代は出来るけど家族の交代は出来ない。ひとりで抱えこまないように支えてあげる家族へのケアも必要であると感じた。」
「リフレッシュができ、自分をリセットできた。明日から介護している家族に優しく接することができます。」等の感想が寄せられました。

財団が主催する研修会の叢書を発刊しました。
当財団ホームページに全文を記載していますので、どうぞご覧下さい。

・叢書　95号　第20回損保ジャパン日本興亜福祉財団賞　受賞記念講演録

